

ちーの山暮らし物語

田人地区 地域おこし協力隊

8月号



風のない夏に、汗がポタポタと土地に落ちています。草に負けないよう沢山の愛情を野菜に降り注ぎ、エンドウ豆の家を作りました。

五月に種をまいたエンドウ豆は、あつという間に空に伸びています。つるが空高く伸びるよう、支柱を立ててネットを張り始めたところで、いつもお世話になつているYさんから「一人でやると大変だつべよ。」と声をかけられました。

それで、横方向の支柱を作る為に、近くにある竹林で竹を切り下ろしてくれました。そして、Yさんの指導をもらいながら、支柱を立てて、きゅうり用ネットを張って固定しました。固定するには麻ひもを使い、Yさんが教えてくれた「とつくり結び」で結びました。

「とつくり結び」は、果樹の支柱固定、玉葱の干し掛けなど、何でも使える万能な結び方です。結び方を忘れないように、Yさんに隣にいてもらい、私は何度も練習しました。おかげで出来るようになりました!!

豌豆のネット張り



キャベツの収穫



謎のコーナー
知りたかつたら
田人へ
おいでちょ!

同じいわき市でも、中山間地域の風土はそれぞれ違います。協力隊として着任し、地域でホップや大麦を育てて、醸造所を持つようになり、地ビールを作つてゐるSさんの姿や、皆で地域のことをサポートする姿をみると人の温かさや土地を守る心は一緒だと感じました。

大麦畠の手除草

いよいよ定植したキャベツの収穫を迎えるました。化学物質を使わないので、マルチを張つたトンネルの中で、草と共に成長し育ててきました。初収穫のキャベツは、地域や畠のことでのいつもお世話になつてゐる皆さんに感謝の気持ちを込めて食べてもらいました。

そして、キャベツ苗をもらつたYさんから後日Yさんの育てたキャベツをいただきました。食べ比べてみたら、自分のキャベツは硬く甘味が強くありませんでしたが、Yさんのキャベツは柔らかくて甘味が強くて美味しいかったです。それは自分の畠の養分、特に窒素が少なかつたためです。キャベツの甘味を増やす為に、油かすを畠に入れたとYさんが教えてくれました。キャベツの栽培の勉強になりました。ありがとうございました。

また、Yさんから秋作のキャベツ苗十二株をいただきました。今回は食感がやや硬めのキャベツです。甘味のあるキャベツを作る為に植え付ける前に、米ぬかを土に入れました。今回も耕耘しました。時期的に霜の影響を受けないので、マルチを張らないで防虫ネットのトンネルを設置しました。

最近は気温が高く、日差しが強いので、キャベツ五株がだめになつてしましました。収穫まで、お日様と相談しながら、キャベツ子たちと一緒に頑張ります!

この時期、畠仕事をする皆さんは草と戦つてゐるのでしょうか。お疲れ様です。今回は、川前地区の地域見学と協力隊OBのSさんの大麦畠の勉強に行ってきました。

